



人権コラム

「ありがとう」について

何かしてもらった時、「ありがとう」と言ってお礼をすると思いますが、なぜ「ありがとう」と言うのでしょうか。

「ありがとう」の語源は「有り難し」で、これは「有ることが難しい」という意味で、転じて「めったにない、珍しい」という意味を表していました。それが、貴重なものや出来事に対して感謝の気持ちを表す言葉として使われるようになり、現代の「ありがとう」へと変化したと言われています。

では、「ありがとう」の反対語とは何でしょうか？
「ありがとう」の語源の「めったにない、珍しい」の反対と考えれば分かりやすいでしょうか。
答えは「あたりまえ」です。

「いつでもある、珍しくない」は「あたりまえ」ですよね。最近みなさんは、「ありがとう」を言っていますか？日本語には「親しき中にも礼儀あり」という、とても素晴らしい格言があります。

たとえ親兄弟姉妹、家族、友人知人といえども「ありがとう」を言うことは大事な事だと思います。

最初の頃は「ありがとう」と言っているけど、それが「あたりまえ」になると、無反応だったり、ぞんざいな扱いになったりします。

身近な例としては、パートナーが作ってくれる食事でしょうか。「ありがとう」や「美味しい」といった言葉を使っていますか？すでに「あたりまえ」になっていませんか？たまには、「ありがとう」について考えてみてください。

人権啓発講座

～ ちろうて気づき ～

9月は、「アイユ8月号」に掲載されている、馬場周一郎さん（元西日本新聞記者、公益財団法人人権教育啓発推進センター・特別講師）の「新聞記者と部落差別～40年間の取材ノートから」を紹介しました。

今回は、政界の同和問題について『東京・永田町で「教えてもらいたいことがある」（上）」と題して書かれています。

まず、全国水平社創立60周年記念集会取材時の野中広務氏（当時、京都府副知事）の挨拶について書かれました。そして、野中氏の活躍を好意的に思わない人たちの嫉妬や妬みが渦巻いている様子など、通常私たちが知らない事実を、この取材ノートの中で知ることができました。



【カラオケ教室】

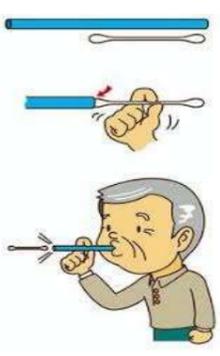


いろは倶楽部の口腔ケア指導

【9月24日(水)】
今回も、大草美智江さん（歯科衛生士）を講師にお迎えしました。「オーラルフレイルチェック」を各自でしてみたり、「口の機能」「口の老化」「食べるための4つの力」「口の〈4つの力〉をアップする方法」について話を聞き、指導してもらいました。



その後、ストローに綿棒を入れて吹き、的に当てて倒す「的にあてゲーム」をしました。



相談事業

人権相談、生活相談、就労相談、福祉・健康相談、教育相談など幅広く相談に応じています。
隣保館での相談内容は
『外部にもれることなく、料金もかかりません』
お気軽にご相談ください。

※ いろは倶楽部では、タクシー送迎ができます。詳細は、浜原隣保館にお尋ねください。



いろは倶楽部
11月26日(水)
13:30~15:30

- 脳トレ
- ゲーム・体操
- 工作・塗り絵
- 療育音楽

11月の予定

4(火) スマホ教室(星組)	17(月) 新 太極拳教室
7(金) カラオケ教室	20(木) スマホ教室(月組)
12(水) 筆ペンの美文字教室	26(水) いろは倶楽部
	28(金) 古文書教室